

図書館だより 2018 3月

能勢高等学校図書館

春はもうすぐ・・・

新しい本、入りました。

「この先一人だけでやって暮らす。こまっ
たあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な
息子と娘、亡き夫への愛。震えるような
悲しみの果てに、七四歳の桃子さんが迎
り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独と
は。

第一五八回 芥川賞受賞作
おらおらで
ひとりいぐも
若竹千佐子著
河出書房新社



明治二九年、岩手県花巻に生まれた宮沢
賢治は、昭和八年に亡くなるまで、主に
東京と花巻を行き来しながら多数の詩や
童話を創作した。地元の名士であり、熱
心な浄土真宗信者でもあった父・政次郎
は、このユニークな息子をいかに育て上
げたのか。賢治の生涯を、父・政次郎の
視点から描く

第一五八回 直木賞受賞作
銀河鉄道の父
門井嘉喜著
講談社



【コミック】

フラジャイル 10巻 恵三郎漫画 草水敏原作 講談社

同僚の医師は岸京一郎についてこう語る。「強烈な変人だが、極めて優秀だ」と。利発で人気者の患児・ハルが荘望会に帰還した。彼は末期癌であることを知らされていない。残酷でも真実をハルに伝えたいと願う臨床医達の熱が、岸の古傷を刺激する！



ちはやふる 37巻 末次由紀著 講談社

名人・クイーン戦予選、東日本予選・準決勝。千早は強豪・富士崎の山城理音と、太一は須藤と、息もつけぬ戦いを繰り広げる。不運が重なり形勢不利。しかし原田先生のはからいで新の西日本予選突破を知った千早と太一は、自分たちのかるたを思い出す。依然として後がない中、千早は極限の集中状態へ——！運命を引き寄せろ。一枚も譲れない戦いがここにある



【総記】

はじめての研究レポート作成術 沼崎一郎著 岩波ジュニア新書

「研究ってどうやるの?」「資料の探し方は?」「レポートの書き方にルールはあるの?」…。初めて自分で何かを調べてレポートにまとめる人のために、図書館とインターネットを使って入手できる資料を用いた研究レポート作成術を懇切丁寧に解説。研究への取り組み方から、コピー不要の文章の組み立て方を解説する。



【哲学・宗教】

10年後、君に仕事はあるのか? 藤原和博著 ダイヤモンド社

人工知能、グローバル化、就活の地殻変動…仕事が消滅していく社会でどんな力を身につければいいのか? 「稼げる大人」になる、シンプルかつ強力な対処法を、高校生に語りかけるスタイルで大人にも問いかける。



【歴史・地理】

戦国おもてなし時代 信長・秀吉の接待術 金子拓著 淡交社

織田信長・豊臣秀吉が権力を握った戦国時代、おもてなしはどのような時と場所、人間によってなされていたのか。様々な史料を通して、先人たちによるおもてなしの風景を紹介する。



榎本武揚と明治維新 黒瀧秀久著 岩波ジュニア新書

幕末から明治へと至る激動期にオランダに留学して海外の最新の科学技術を吸収し、「蝦夷共和国」を夢見て箱館戦争を戦った榎本武揚。その後、旧幕臣にもかかわらず新政府にその才知と国際感覚を買われて北海道開拓や殖産興業など日本の近代化に大きな役割を果たした「近代日本の万能人」の姿を描く。



プラタモリ1~12 NHKプラタモリ制作班著 角川書店

タモリさんが日本全国あなたの町へ! NHKで毎週土曜19時半から放送中。街の成り立ちを土地や建物に残された痕跡から、歴史・文化・地質学などさまざまなアプローチで掘り下げ、これまでとは一味もふた味も違うディープな街歩きを楽しめます。本編では語り切れなかったエピソードやロケの撮影風景の特別写真、街歩きに便利な地図などを多数収録。



【社会科学】

なるにはbooks ペリかん社

(職業案内シリーズ) その仕事の魅力・現実から、なり方まで幅広く紹介。

- ・グランドスタッフになるには 京極祥江著
- ・東南アジアで働く 横山和子著
- ・魚市場で働く 鎌田浩章著



中国では書けない中国の話 余華著 河出書房新社

陳情と法律、検閲、海賊版、毛沢東、文化大革命…。中国を代表する作家が『ニューヨーク・タイムズ』など海外メディアに発表した社会批評集。中国の知られざる真実を発信する。



中国「絶望」家族 一人っ子政策は中国をどう変えたか

メイ・フォン著 草思社

急激に進む高齢化、歪んだ男女関係、人身売買と1300万人の無戸籍者、家族も蓄えも失った老人の群れ…。世界に類を見ない過激な政策、中国の一人っ子政策を深く掘り下げ、その隠された真相を暴いた渾身のレポート。



北朝鮮 核の資金源 国連捜査秘録 古川勝久著 新潮社

なぜ北朝鮮は、「最強の制裁」を何度も受けながら、なぜ北朝鮮は核兵器や米国にまで届くミサイルを開発できるのか。犯罪ネットワークを駆使して戦闘機やミサイルすら密輸する非合法ビジネス、組織の中核で暗躍する日本人の存在を明らかにする。



日本人と動物の歴史1~3 小宮輝之著 ゆまに書房



イヌやネコ、ウマ、ウシ、ウサギなど私たちの生活に身近に存在する家畜や、タヌキ、イノシシ、クマ、クジラなど人間の生活域と離れて生息している野生動物、さらにはニワトリやスズメ、トキなどの鳥たちはいつごろから日本に生息してどのように私たちと関わってきたのでしょうか。上野動物園園長が、従来の動物図鑑とは異なり、民俗学的・歴史的観点から日本人の生活と関わりの深い約 50 種類の動物たちを、文献や昔話、伝説、様々なエピソードを交えて面白く紹介・解説します。

【自然科学】

世界一まじめなおしっこ研究所 金子大輔著 保育社



1 日の回数や量は？そもそもどうやってつくられるの？健康診断で尿検査をするのはなぜ？女性も立って用を足せる？など おしっこの大切さと不思議さをまじめに楽しく伝える本。生物学を軸に、行動学、心理学、民俗学などへも手を広げつつ、おしっこについて、豊富なイラストとともに解説します。

ネット依存から子どもたちをどう守るのか 堀口 進著 ミネルヴァ書房

オンラインゲームや SNS にはまって学校生活が破綻する子どもたちが大きな社会問題になっています。なぜネット依存になってしまうのか、またネット依存は脳の発達にどのような悪影響を及ぼすのか、ネット依存はどうやったら治るのか、などをイラストを交えてわかりやすく解説したオールカラーの入門書。



元素118の新知識 桜井 弘著 講談社



それぞれに個性的で、独自の働きや機能をもつ 118 個の元素たち。その全貌がよくわかる「読む元素事典」の決定版!アジア初・日本発の新元素「ニホニウム」記載!「立花隆選の 100 冊」に選出!累計 16 万部突破のベストセラーがバージョンアップ!新たに命名された新元素も徹底解説。

【技術・家政】

農家が教える もち百珍 農文協編 農山漁村文化協会

つき方一プロに教わる杵つきもちのソゴ技/失敗しやすい玄米もちを必ず成功させる秘訣/冷めても固くならない大福もち。素材一ふわっふわで色鮮やかなヨモギもちのつくり方/ミカン、リンゴ、イチゴ、ショウガ、アスパラ、エビ、ワカメなど、もちに合う 20 種の素材と混ぜ込むコツ。保存一使い捨てカイロでもちのカビを防ぐ/凍みもちをきれいに作る。ほか、毎日のおやつからハレの日の逸品まで、農家から教わった、秘伝のもちレシピ・技。



街の中で見つかるすごい石 西本昌司著 日本実業出版社

ビルの外壁、石畳の歩道、デパートの階段、地下街の柱、公園のモニュメント…。「すごい石」は街のいたる所にある! 地質のプロが、石材を通して自然と文化を探る“街角地質学”の楽しみ方を伝える。



【産業・交通】 育てて楽しむブドウ 小林和司著 創森社

つる性落葉果樹ブドウ。種類も多く、多汁で甘みがあることから、庭先果樹としても根強い人気がある。日々観察しながら上手に育てるため、ブドウの生態や栽培特性、品種、仕立て方、栽培方法、利用加工のヒントなどをわかりやすく解説。



花の品種改良の日本史 柴田道夫著 悠書館

現代の花は、大きくて、彩り豊かで、病気や気候不順にも強くなっています。それにより、園芸ファンをはじめ多くの人たちにも年中楽しめるようになっていますが、もともとの原生種は、より小さくて、害虫や天候にも脆弱でした。この本では、いかにそれぞれの花が強く、奇麗で、大きくて観賞価値が高く、またさまざまな地域にも出荷できるように、いろいろな環境に適応できるように改良されてきたのか、その経緯を多くのカラー写真と各花の専門家が解説。



築地の記憶 人より魚がエライまち 富岡一成著 旬報社

2018 年 10 月の閉場が決まった築地市場。400 年続いた江戸の河岸文化、その最後の姿をここに焼き付ける —— 卸売市場のしくみ、河岸の登場人物、マグロのセリ場、市場人の休日…。残しておきたい築地の記憶を、写真とともに綴る。



【語 学】 関西ことば辞典 増井金典著

日本の歴史と文化を支えた知られざる「関西ことば」約 1 万 2000 語を精選。近畿とは、もともと「皇居に近い地」を言う。飛鳥京~平安京は関西に都があり、明治の東京遷都まで千数百年間は近畿は政治・文化の中心地であった。そしてこれらを支えた関西の言葉こそ、古来からの共通語であり、「一地方の方言」ではなく本来の歴史的な標準語である。この書は、日本の歴史・文化を支えた関西言葉の意味と用例を記録し、日本人の遺産として将来へ継承・創造するための言葉の辞典である。



広辞苑 第七版 岩波書店

『広辞苑』が 10 年ぶりに大改訂された。新たに収録した項目は 1 万で、総項目は 25 万となった。ページ数も 140 ページ増えた。しかし本の厚みは第六版と同じというから驚く。だが進化したのは製紙技術、印刷・製本技術だけじゃない。新たに収録された項目を見ると、この 10 年で日本語がいかに変化したかがわかる。それは日本社会、国際社会の変化でもある。辞書は時代の映し鏡である。常に新しいものがある。

